

SR-800 シリーズ 取扱説明書

株式会社エス・アール作成
平成 20 年 1 月

重要

本装置を使用する前に、必ず本取扱い説明書を読み、内容を十分にご理解した上で使用してください。

注意事項

- ・ 光源を目に当てたり見つめたりしないでください
- ・ 幼児の手の届かない場所をご利用ください
- ・ バーコードの読取以外で使用しないでください
- ・ 弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください
- ・ 医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください
- ・ 日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください
- ・ 英文のマニュアルは、あくまで補足用です。
英文のマニュアルに記載してある事についての動作保証はしません

安全に正しくご使用いただくために

- ・ ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください
- ・ 本機を分解改造しないでください
- ・ ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離して、ご使用ください
ノイズや故障等の原因になります。
- ・ ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください
なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
- ・ 本機の受光部に、水・油・ほこりなどを付着させないでください。
- ・ 本機は、精密機械ですので、落下させた場合、破損する恐れがあります。
持ち運びや設定の際は ご注意ください

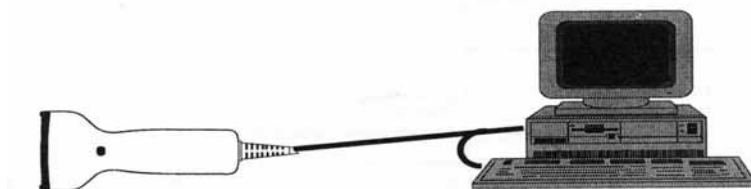
インデックス

1	接続方法	1
2	設定手順	2
3	用語の意味	3
4	出力データフォーマット	4
5	初期設定	5
6	出荷時設定	6
7	キーボードインターフェース	7
8	各種設定1	8
9	各種設定2	9
10	各種設定3	10
11	RS232Cパラメータ	11
12	プリアンブルとポストアンブルの設定の仕	12
13	EAN-13/JAN-13	13
14	UPC-A	14
15	EAN-8/JAN-8	15
16	CODE 39	16
17	Interleaved 2 of 5	17
18	Industrial 2 of 5 / IATA	18
19	CODABAR / NW7	19
20	16進 テーブルコード表	20

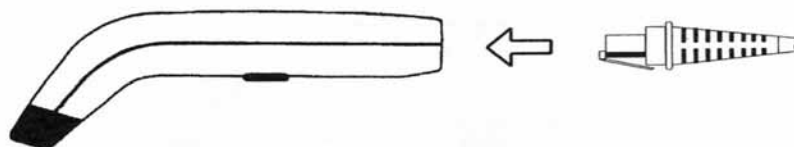
1 接続方法

例: キーボードウェッジタイプのスキャナー

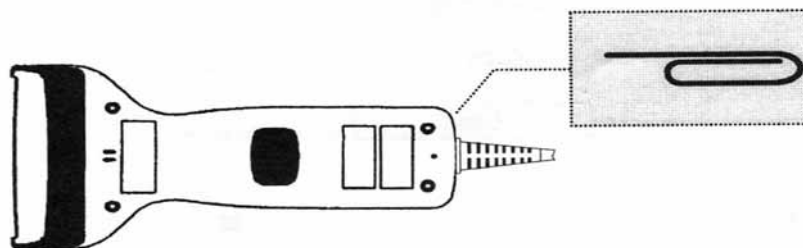
- 1) 端末からキーボードコネクタを外して、スキャナーのYケーブルをつなぎ、その後パソコンのキーボードポートにつないで、パソコンの電源を入れます。



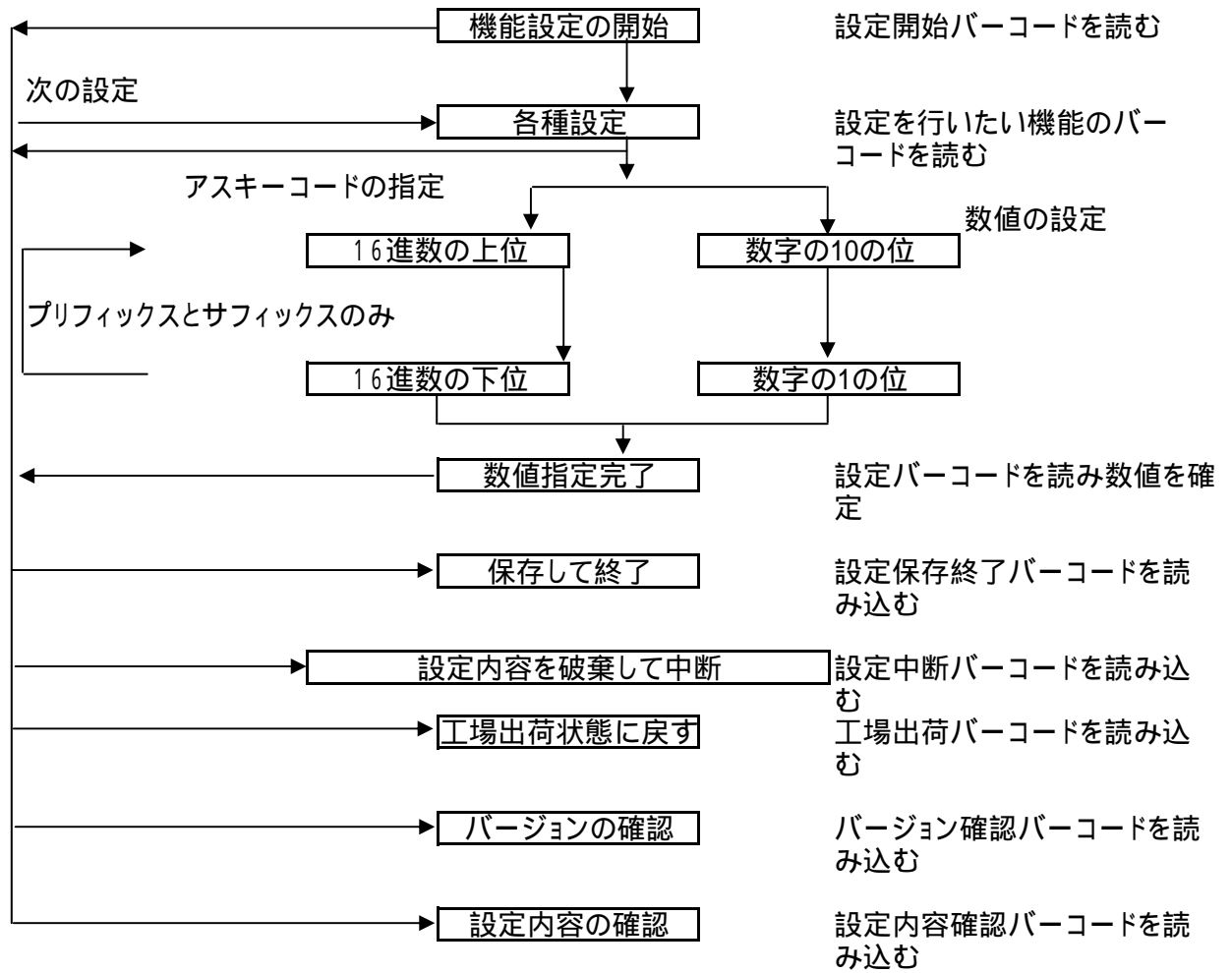
- 2) バーコードリーダは電話用ジャック型のコネクタによってつなげてあります。
(レーザー型スキャナの場合は、コネクタ部のネジを外してください)



- 3) 電話用ジャック型コネクタはスキャナーから簡単に取り外せます。スキャナーの後ろにある小さな穴にピンか針を差し込んでください。
(レーザー型スキャナの場合は、ネジ部を外すと簡単に外れます。)

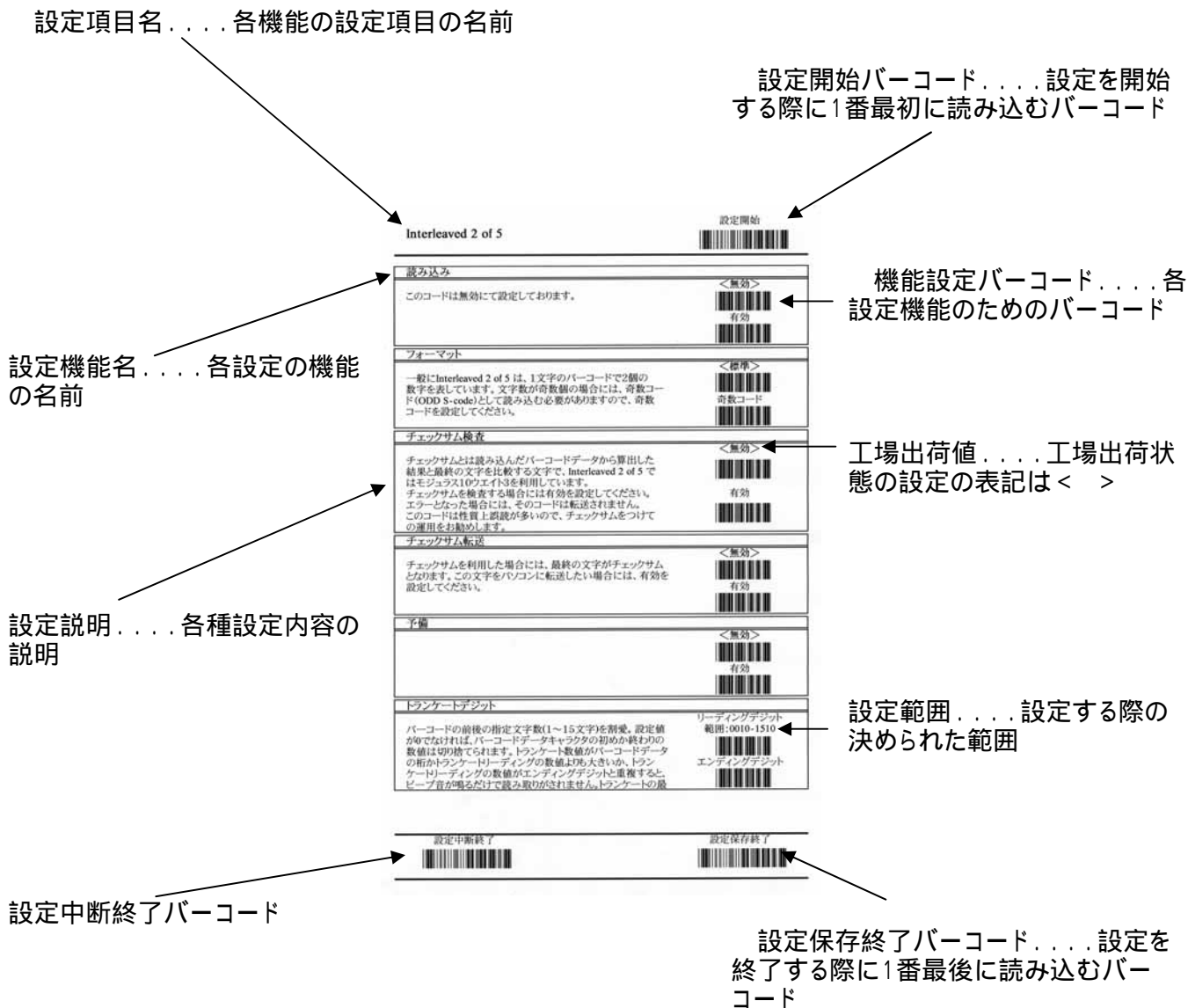


2 設定手順



設定を行っている最中にわからなくなってしまった場合には、設定内容を工場出荷状態に戻して、最初から行う事をお勧めいたします。工場出荷状態は < > で示されています。

3 用語の意味



設定の仕方

スキャナーの全機能設定は本取扱説明書のバーコードを読み込むことにて行います。以下の設定の仕方を参考にして必要なページをA4にて印字した上、読んで設定願います。

- 設定したい項目のページを開きます。
- 設定開始のバーコードを読み込みます。
- 設定したい機能の設定用バーコードを読み込みます。
- 設定保存終了のバーコードを読み込みます。

4 出力データフォーマット

読み込んだバーコードの前後に必要なデータを付加させることができます。



5 初期設定

DEFAULTのバーコードを読み込み時の内容です。

バーコードの設定内容

コード種類	読込有効	最小限の長さ	最大限の長さ	コードID
UPC-A		-	-	
UPC-E		-	-	
EAN 13(JAN 13)		-	-	
EAN 8(JAN 8)		-	-	
Code 39				
Interleaved 2 of 5				
Industrial 2 of 5				
Martrix 2 of 5				
UCC EAN/128 *注意				
Codabar/NW7				
Code 128				
Code 93				
Code 11				
MSI/Plessey				
UPC-EAN Add ON 2/5				
IATA Code				
ISBN				

6 出荷時の設定

出荷時の設定内容

弊社のバーコードリーダは、下記の設定をして出荷しております。
出荷時の設定に戻されたい場合は、下記の手順に従って作業してください

A) デフォルトの設定をします。
デフォルトのバーコードを読みます。



デフォルト

B) 日本語のキーボードの設定をします。
設定開始バーコードを読みます。



設定開始

言語設定で、日本語を選択します。



日本語

設定終了バーコードを読みます。



設定終了

注意

上記の設定は出荷時の設定に戻されたいときに行ってください。
何らかの事情で調子が悪くなったとき等、上記の設定をお薦めいたします。



キーボードのタイプ

キーボードは、日本仕様(DOS/V)に設定してあります。しかし、お客様で特別に設定されたい場合や、初期化して再度設定したい場合に登録してください。下記以外の設定は、英語マニュアルの11Pをご参照ください



<IBM PC/AT,PS2>



MAC SE



IBM PS/2 25,30



PS-55

キーボード言語

バーコードリーダは、デフォルトは英語キーボードにて設定されていますが、日本語キーボードにて設定して出荷しています。初期化した場合は、設定に注意してください



<英語>



日本語

キーボードスピード

キーボードのスピードは、ノーマルで設定してあります。特に遅い場合を除いて、この設定にて動作させてください。



<ノーマル>



ターボ

終端データ(PS2タイプ 及び USBタイプ)

バーコードデータの後ろにつく文字をどれにするかを設定します。



NONE



ESC



<CR>



CTRL-C



空白



EXEC



TAB

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





読込モード1

読み込みモードは、バーコードリーダの読込をどのような状態するかを設定します。



<読込後 消灯>



トリガスイッチにてON/OFF動作



LED 常時点灯



トリガスイッチにて動作



トリガ無し(常時点灯)



テストモード

読込モード2

光線の出力時間を設定する場合に使用します。
デフォルトは、3秒に設定してあります。
設定は、右のバーコードを読込した後、HEXラベルの
テーブルを読んで時間を設定します。



トリガ ONしてからの光線のOFF時間

読込モード3

大文字/小文字



自動



<小文字>



大文字

10キーパッド

この設定を行うと、10キーに合わせた形式の動作ができます。
10キーパッドの設定をONにして、NUM LOCKをOFFにすると、1の場合 END 4左 6は右 2は下
8は上矢印と同じ動作をする事ができます。



ON



<Off>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





ブザー

ブザーの高さと長さの設定を変更することができます。
設定は、左のバーコードを読んで、HEXA DECIMALコードを読んで
設定することができます。



ブザーの高さ(0 - 22)



ブザーの長さ(0 - 127)

パワーアップトーン

電源入力時に、起動音を発生させるかの設定をします。



<ON>



OFF

LED表示

LEDの表示を設定します。
規定では、ノーマル状態で点灯し、バーコード読込でOFFします。
別の設定では、ノーマル時OFFで、バーコード読込で点灯します。



<ノーマル時 ON>



ノーマル時 OFF

インターフェース

バーコードリーダーのインターフェースの設定を行います。
USB及びPS2タイプは、キーボードにて設定してください



KeyBoad



RS232C

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





コードID

読込んだバーコードの種類別コードをデータの先頭に表示させます。
データは、SETテーブルによって表示させる文字が違います。



CODE ID = ON



<CODE ID = OFF>



Set1



Set2



Set3



Set4



Set5

Code ID Set1-Set5 テーブル表

	Set1	Set2	Set3	Set4	Set5
Code39	A	C	Y	M	A
Industrial 2 of 5	C	H	H	H	S
Inteleave 2 of 5	D	I	Z	I	S
Matrix 2 of 5	E	G	G	G	S
Codabar	F	N	X	N	F
Code 93	I	L	L	L	G
Code 128	H	K	K	K	C
EAN8	P	B	B	FF	E
Ean13	M	A	A	FF	E
MSI	V	V	D	P	M
UPCA	M	A	A	A	E

予備

予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





終端データ

データの最後にどのデータを付加するかを選択します。



NONE



ESC



<CR>



CTR - C



CR/LF



STX..EXT



LF



XON..XOFF



SPACE



EOT



TAB

ボーレートの設定



300



600



1200



2400



4800



<9600>



19200



38400

データ長・パリティ

セットアップ データビット



7 ビット



<8ビット>

セットアップ パリティ



<NONE>



Even



Odd

予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





12 プリアンブルとポストアンプルの設定の仕方

プリアンブル (例 バーコードデータの先頭に "A" を付加したい場合)

読込データの先頭に、予め設定したデータを登録することができます。
設定できる文字数は最大で10文字までです。
設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。

2 プリアンブルコードを読込ます。



プリアンブルコード

<例>

3 Hexテーブルコードから2文字単位でデータをセットします。

例 "A" の場合の設定方法で HEX41 の "4" を読込む



4

"A" の場合の設定で HEX41 の "1" のコードを読込ます。



1

4 コンフォームコードを読込ます。



5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

コンフォームコード

ポストアンプル (例 データの最後尾に "A" を付加したい場合)

読込データの最終尾に、予め設定したデータを登録することができます。
設定できる文字数は最大で10文字までです。
設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。



2 ポストアンプルコードを読込ます。

ポストアンプルコード

<例>

3 Hexテーブルコードから2文字単位でデータをセットします。

例 "A" の場合の設定方法で HEX41 の "4" を読込む



4

"A" の場合の設定で HEX41 の "1" のコードを読込ます。



1

4 コンフォームコードを読込ます。



5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

コンフォームコード

プリアンブルとポストアンプルデータを消去したい場合

1 ページ右上の設定開始バーコードを読込ます。



2 クリアしたいバーコード(ポストアンプルかプリアンブル)を読込みます

プリアンブル

3 Clearバーコードを読込ます。



ポストアンプル

4 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます



Clear

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





読取の設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

ISBN/ISSN 転換

ISBN(国際標準図書番号)とISSN(国際標準逐次刊物番号)は、2種類のバーコードブックラベルです。ISBNは978がついた10桁の数字で、ISSNはEAN-13のコード体系がついた8桁の数字です。



<ON>



OFF

ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

ADD/ON設定

定期刊行物(雑誌)コードを読み込む際、この設定をします。このコードは、通常のJAN-13に5桁の数字がついています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

予備

予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

EAN-8 コンバート EAN-13

EAN - 8 (JAN - 8) のコードの先頭に5桁の0を付加します。



ON



<OFF>

予備

予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

Start/End キャラクター 転送

スタート/エンドキャラクタ（*）を転送するか否かを選択します。



ON



<OFF>

チェックサムの設定

チェックサム(モジュラス43)のチェックを行うかを設定します。
弊社では、チェックをお勧めします。



ON



<OFF>

フォーマット

フルASCII CODE - 39は、CODE - 39の強化版で、全てのASCII
コードを表す128キャラクターのデータです。



<Standard>



Full ASCII

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定



ユーザー設定

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取不可になっております。



ON



<OFF>

チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定

IATA

IATAの読取の設定です。
通常は、OFFに設定されています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





設定

初期設定では、読取可になっております。



ON



<OFF>

スタート・ストップコード転送

CODABAR/ NW7のスタートストップコードをパソコンに転送する場合に指定します。



ON



<OFF>

スタート・ストップ種類

Codabar/NW7は 6種類のスタートとストップコードが用意されていますので、ご使用されるバーコードの種類に合わせて1つ選択してください



ABCD/ABCD



ABCD/TN*E



abcd/abcd



abcd/tn*e


















ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





 0	 8
 1	 9
 2	 A
 3	 B
 4	 C
 5	 D
 6	 E
 7	 F
	 Confirm

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)

